

危険 平和憲法が重大事態！

改憲狙う自民、維新、みんな3党で衆院76.9%



憲法改悪ノーの声を

安倍政権の改憲策動を許さず、憲法を守り生かす運動の新たな発展の年にしましょう



憲法9条は、アジアと世界に甚大な被害を与えた侵略戦争の反省を踏まえ、日本が二度と再び侵略国とならず、世界平和のための先駆的役割を果たすという「世界への約束」です。これを投げ捨てることは、日本の国際的信頼の計り知れない失墜となります。

かつてない深刻な状況

ところが、平和憲法を正面から否定・破壊する攻撃の規模と内容は、かつてない深刻な状況です。

自民党は選挙公約に、国防軍の創設、集団的自衛権行使、基本的人権の制限など現憲法の原則を根本的に転換する「日本国憲法改正草案」を掲げました。そして、安倍首相は選挙後、改憲手続き・発議要件を定めた憲法96条の改定に着手することを表明。夏の参議院選挙での改憲勢力の多数化を図り、憲法9条改悪を狙っていることは明らかです。

「維新の会」は、改憲と核武装

こうした動きは自民党だけではありません。「自主憲法制定」と「核武装」を是とする維新の会や「集団的自衛権」の行使を主張するみんなの党、改憲議論を否定しない公明党など安倍自民党政権に同調する改憲勢力の存在も無視できません。自民、維新、みんなの3党の衆議院での議席は76.9%にも及びます。

国民の願いは、平和憲法を生かすこと

しかし、自民党の改憲・9条破壊の公約は、国民の信を得たものではありません。自民党が選挙で多数を占めたのは、民意を正しく反映しない「小選挙区制」の選挙制度によるものです。

国民の多数は、平和を願い、改憲反対、憲法を生かすことを望んでいます。また、アジアと世界のマスコミは選挙後、「9条改憲」への懸念と警戒を繰り返し報道しています。

憲法改悪反対、9条守れの国民の世論が多数である限り、憲法改悪を強行することはできません。憲法守れ！の世論で国会を包囲しましょう。

219万票減なのに自民圧勝？ おかしいぞ小選挙区制

12月16日投票の総選挙、自民党は3割（比例）の得票で全議席の61%にあたる294議席を獲得し「圧勝」。ところが、自民の得票は、政権を失った前回よりも219万票も減らしているのです。

得票を大幅に減らして「圧勝」できたのは、小選挙区制の弊害に他なりません。国民の意思が反映されたことにはなりません。

